

農林水産大臣 様
厚生労働大臣 様
食品安全委員会委員長 様

体細胞クローン家畜食品に反対する署名

2009年3月12日、食品安全委員会が、体細胞クローン家畜を食品として安全だと評価しました。これによって、体細胞クローンの牛肉などが食品として流通するのは、時間の問題となりました。体細胞クローン家畜は、死産・流産、生後直後の死亡が多く、内臓奇形や巨体児、病死など異常が多く、ほとんどの家畜が何らかの問題をもって生まれてきます。ごく普通の生命の営みを経ないで、新たな生命を作り出しているからです。

にもかかわらず、食品安全委員会は、異常なものは早く死に、一定の期間生き残ったものに関しては問題ないとしています。これでは、安全を確認したとはいえません。私たちは、このような家畜を食品とすることに反対ですし、食べたくもありません。しかも、先行して流通している受精卵クローン家畜食品は、表示もなく私たちは知ることも、選ぶこともできません。

以上のことから、私たちは以下のことを要求します。

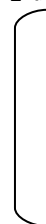
- 1、体細胞クローン家畜を食品として安全だとした評価を撤回してください
- 2、生命倫理、生物多様性、動物福祉への影響を検討してください
- 3、受精卵・体細胞クローン家畜の食品表示を義務化してください

名前	住所

上記個人情報は本目的以外には使用しません。

集約:2009年8月31日

【取り扱い団体】



【呼びかけ団体】

遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン
特定非営利活動法人 日本消費者連盟
食の安全・監視市民委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-9-19-207

TEL:03-5155-4756 FAX:03-5155-4767